

姫路市に開校予定の 夜間中学への入学が可能に

概要 加西市と姫路市との間で締結した連携中枢都市圏形成に係る連携協約について、令和5年4月開校予定の公立夜間中学「姫路市立あかつき中学校」の入学対象者を居住地の制限なく広域で受け入れるため、連携協約を変更するもの。

質 疑

問 入学対象者は。

答 何らかの理由で義務教育を受けられなかった方など、年齢は15歳以上で上限はなく、年配の方や外国人の方も対象となります。

問 加西市の財政負担は。

答 生徒一人当たりの負担金は、学校運営費や用務員の人件費、給食費など年間15万円程度です。加

議案第74号 姫路市及び加西市における連携中枢都市圏形成に係る連携協約の一部変更について

西市からの入学希望者がいない場合は負担金は発生しません。なお、現在のところ入学希望者はありません。

討 論

賛成

・義務教育を修了していない方が全国で90万人近くに上るという調査もあり、新たな夜間中学の開校は社会問題解決の一助となることは間違いない。今後、入学希望者が出てくることも考えられるため、夜間中学のPRに努めていただきたい。(本会議)

議決結果

全会一致で
原案可決



物価高騰に伴う子育て世帯 支援事業などを実施

質 疑

公共施設の電気代 3,952万1,000円の増

問 4,000万円近くの公共施設の電気代の増額について。

答 令和3年10月から加西市は新電力事業者（ミツウロコエネルギー）と契約していますが、日本卸電力取引所の価格高騰により電気代が上昇しています。

問 新電力と通常の関西電力との価格差は。

答 これまでは関西電力よりも安かったのですが、これから逆転して高くなってきます。

問 今後も価格が上昇する見通しだが。

答 11月に値上げしたいとの話があり、補正予算可決後の令和5年1月以降に協議し、改定する予定です。

物価高騰に伴う子育て世帯支援事業 4,058万1,000円の増

問 事業の内容は。

答 急激な物価高騰の今、入学準備品購入のため一時的に大きな出費をすることになる家庭の負担



議案第75号 令和4年度加西市一般会計補正予算（第7号）について

軽減のため、新小学1年生は一人当たり2万5,000円、新中学1年生は3万5,000円、新高校1年生は4万5,000円を支給します。また、市外の小中学校に通学する児童生徒の家庭に対し、1月から3月の給食費相当分として小学生1万7,400円、中学生1万9,200円を支給します。「ねっぴ～Pay」によるポイント給付を予定しています。

問 「ねっぴ～Pay」のアプリを使用しない方やスマートフォンを持たない方への給付方法について。

答 アプリのダウンロード方法を案内するなど、基本的には「ねっぴ～Pay」で給付したいと考えます。スマートフォンを持たない家庭については、現金給付を含め別途対応します。

電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金 6,500万円の増

問 給付金の内容について。

答 令和4年9月30日において世帯全員が住民税の均等割のみ課税の世帯、及び令和4年中に家計が急変し、均等割のみ課税世帯と同様の事情があると認められた世帯を対象に、1世帯当たり5万円を支給します。1,300世帯を想定しています。